

## 中酪情報 No.544

2013年3月31日発行  
毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：内橋政敏

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

### ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

### 宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

### 編 集 後 記

大量消費の経済システムに組み込まれ、効率性の追求こそが“生き残り”の手段であるかのように拡大路線をひた走ってきたわが国酪農は、今、消費の減少に直面し、経営の岐路に立たされている。一方で、酪農に従事する「作り手の顔」どころか、乳牛の姿すら、目にする機会が少なくなった消費者を相手に、酪農存続の意義、酪農家の苦悩、「作り手の想い」等を伝えることは困難になっている。しかし、そのような状況だからこそ、消費者と酪農家の距離を縮めるための場作りが求められる。

英国の著名な経済学者エルンスト・フリードリッヒ・シューマツハーは、大量消費を幸福度の指標とし、その幸福度の最大化を理想とする価値観の蔓延に警鐘を鳴らした。リレーコラムの著者が紹介した「スモール・イズ・ビューティフル」は、シューマツハーが1973年に著した代表作であり、従来の経済効率性重視の価値観を批判し、大量消費社会からの脱却の必要性を主張した名著である。酪農家自身も、情勢の変化を踏まえて、自らの経営理念を再点検すべきであろう。

翻訳版は、「スモール・イズ・ビューティフル」(講談社学術文庫、1986年)と「スモール・イズ・ビューティフル再論」(講談社学術文庫、2000年)があります。興味のある方は、ぜひご一読いただきたい。